# 第4期中期目標(案)と中期計画(素案)の比較対照表

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
目次	目次
前文	前文
中期目標の期間	中期計画の期間
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を 達成するためとるべき措置
<ul><li>1 医療サービス</li><li>(1)良質な医療の実践</li><li>(2)地域医療への貢献と医療連携の推進</li><li>(3)災害・感染症等への適切な対応</li></ul>	<ul><li>1 医療サービス</li><li>(1)良質な医療の実践</li><li>(2)地域医療への貢献と医療連携の推進</li><li>(3)災害・感染症等への適切な対応</li></ul>
<ul><li>2 患者サービス</li><li>(1)患者サービスの向上</li><li>(2)情報発信</li></ul>	<ul><li>2 患者サービス</li><li>(1)患者サービスの向上</li><li>(2)情報発信</li></ul>
3 医療の質の向上 (1)病院スタッフの計画的な確保と教育・研修 (2)信頼される医療の実践	3 医療の質の向上 (1)病院スタッフの計画的な確保と教育・研修 (2)信頼される医療の実践
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実 2 事務部門の機能強化 3 働きがいのある職場環境づくり 4 法令遵守と公平性・透明性の確保	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実 2 事務部門の機能強化 3 働きがいのある職場環境づくり 4 法令遵守と公平性・透明性の確保
第3 財務内容の改善に関する事項 1 持続可能な経営基盤の確立 (1)経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化 (2)投資財源の確保	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 1 持続可能な経営基盤の確立 (1)経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化 (2)投資財源の確保

第 4 期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
2 収支改善 (1)収益確保 (2)費用削減	2 収支改善 (1)収益確保 (2)費用削減
第4 その他業務運営に関する重要事項 1 福岡市立こども病院における医療機能の充実 2 福岡市民病院における経営改善の推進	第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 1 福岡市立こども病院における医療機能の充実 2 福岡市民病院における経営改善の推進
	第5 予算(人件費の見積もりを含む。), 収支計画及び資金計画 1 予算(令和3年度から令和6年度まで) 2 収支計画(令和3年度から令和6年度まで) 3 資金計画(令和3年度から令和6年度まで)
	第6 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生事由
	第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
	第8 剰余金の使途
	第9 料金に関する事項 1 料金 2 料金の減免
	第 10 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項 1 施設及び設備に関する計画(令和3年度から令和6年度まで) 2 人事に関する計画 3 中期計画の期間を超える債務負担 4 積立金の処分に関する計画

### 第4期中期目標(案)

# 前文

#### 前文

地方独立行政法人福岡市立病院機構(以下「市立病院機構」という。)は、平成22年4月の設立以来、「いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。」という基本理念の下、福岡市立こども病院については、こどものいのちと健康をまもることを目的とし、高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院として、また、福岡市民病院については、地域医療を基礎としつつ、高度医療及び高度救急医療を提供する地域の中核的な病院として、両病院の運営に取り組んできた。

平成29年度から令和2年度までの第3期中期目標期間中においては、地方独立行政法人制度の特長を活かして、医療水準の更なる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、事業継続計画(BCP)を踏まえながら、疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の医療機関との連携の下、入院患者を積極的に受け入れるなど、適切な対応を行った。

第4期中期目標においては、引き続き、医療機能の強化や経営の効率化に取り組み、市立病院として担うべき医療の安定的、継続的かつ効率的な提供に努めるとともに、福岡県において策定された地域医療構想や、今後、国によって示される公立病院の役割等を踏まえ、地域包括ケアなど地域の医療提供体制において求められる役割や災害・感染症などの危機管理に際して求められる役割を果たすよう病院運営に取り組むこととする。

福岡市立こども病院においては、小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、求められる役割を果たせるよう、中核的な小児総合医療施設としての医療機能の更なる充実を図るとともに、引き続き病床の適切

地方独立行政法人福岡市立病院機構(以下「市立病院機構」という。)は、平成22年4月の設立以来、市長から示された第1期、第2期及び第3期中期目標を達成するため、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら効率的な病院経営を行ってきた。また、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、事業継続計画(BCP)を踏まえながら、疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の医療機関と連携のもと、入院患者を積極的に受け入れるなど、適切に対応を行ってきたところである。

第4期中期計画(素案)

今回示された第4期中期目標期間においては、新型コロナウイルス感染症への取組を継続するとともに、福岡県において策定された地域医療構想や、今後、国によって示される公立病院の役割など、公立病院を取り巻く医療環境の変化を踏まえながら、救急医療、小児医療、周産期医療を始めとする高度医療の更なる充実を図りつつ、引き続き経営の効率化等に積極的に取り組んでいく。

また、地域医療構想や地域包括ケアシステムの推進に取り組む上で求められる役割を果たすよう、市立病院として適切に病院運営に取り組み、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、次のとおり中期計画を定める。

### 〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

#### 〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
な運用や更なる確保を目指した取組を進めることとする。	
福岡市民病院については、平成20年6月の福岡市病院事業運営審議会答申及び同年9月議会の「新病院の整備に関する決議」を踏まえ、福岡市民病院の現状や公立病院を取り巻く医療環境の変化等を勘案し、福岡市において、引き続きそのあり方について検討していく。	
中期目標の期間	中期計画の期間
令和3年4月1日から令和7年3月31日まで	令和3年4月1日から令和7年3月31日まで
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を 達成するためとるべき措置
1 医療サービス	1 医療サービス
(1) 良質な医療の実践	(1) 良質な医療の実践
市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及	福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実
び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医	に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。
療, 救急医療等を提供すること。	
また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の	
変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。	
ア 福岡市立こども病院 これまで培ってきた高度小児専門医療, 小児救急医療及び周産期医療の 更なる充実を図るとともに, 中核的な小児総合医療施設として求められる 役割を果たすこと。	ア 福岡市立こども病院 高度小児専門医療, 小児救急医療及び周産期医療の更なる充実に取り組む とともに, 移行期医療や医療的ケア児への対応等, 福岡市立こども病院に求 められる役割を果たせるよう, 診療機能の充実や見直しを図る。

第4期中期目標(案)	第4期中	朝計画(素繁	₹)	
	【目標値】			
	指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
	1人1日当たり入院単価(円)	108,393	112,457	110,000
	1日当たり入院患者数(人)	215.5	192.6	205.5
	(病床利用率)※(%)	(90.2)	(80.6)	(86.0)
	新規入院患者数(人)	7,428	5,776	6,883
	手術件数(件)	2,929	2,570	2,800
	救急搬送件数(件)	1,380	904	1,000
	PICU利用率(%)	98.1	98.1	97.3
	NICU利用率(%)	95.7	94.3	95.5
	※ 病床利用率については、糸 (年延入院患者数÷年延病。			算出方法
イ 福岡市民病院	イ 福岡市民病院			
高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、	, ① 福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき,公立病院に求められる			に求められる
高度救急医療の更なる充実を図ること。	高度専門医療の更なる充実を図る。			
	② 入院を必要とする重症度の高	高い救急患者の	受入れを円滑に	こ行うため、救
	   急医療の更なる充実を図る。			
	【目標値】			
	指標	令和元年度	令和2年度	令和6年度
		実績値	見込値	目標値
	1人1日当たり入院単価(円)	64,081	68,193	66,300
	1日当たり入院患者数(人)	183.9	168.4	190.0
	(病床利用率)※(%)	(90.2)	(82.6)	(93.1)
	新規入院患者数(人)	4,525	4,053	4,769
	手術件数(件)	3,719	3,437	3,815
	救急搬送件数(件)	2,820	2,404	3,023
	救急搬送患者の入院率(%)	44.0	43.6	43.6

第4期中期目標(案)	第4期中期	計画(素案	)	
(2)地域医療への貢献と医療連携の推進	(2) 地域医療への貢献と医療連携の	 の推進		
地域包括ケアなど地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力	① 地域医療体制の中核を担う地域	医療支援病院	としての役割	を踏まえ,地
体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。	域の医療機関との連携・協力体制の	D更なる充実を	図り,病病・	病診連携を積
	極的に推進する。			
	また,地域の医療従事者への教育	研修等を通じ	た地域医療へ	の貢献に取り
	組む。			
	② 福岡市立こども病院については	,福岡県小児	等在宅医療推	進事業の拠点
	病院として,行政・医療・福祉・教	で育等の関係機	関と連携を深	め、小児在宅
	医療を担う在宅医や訪問看護ステ	ーション等が	拡充されるよ	う支援を行う
	等, 引き続き地域における小児等医			
	する。		2 113214.0	X   <u> </u>
	③ 福岡市民病院については,地域を	括ケアシステ	<b>ハにおける中</b>	心的な役割を
	求められていることを踏まえ、回復			
	を担う医療機関等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円			
	滑な入院受入れを行う。	73 XJAICHX 9		., 米心心()()11
	はなくからない。			
	【目標値】			
		福岡	岡市立こども病	院
	指標	令和元年度	令和2年度	令和6年度
	紹介率(%)	実績値 94.8	<u>見込値</u> 90.7	<u>目標値</u> 90.0
	逆紹介率(%)	68.7	65.2	66.7
	オープンカン 回数(回)	31	18	18
	ファレンス 参加者数(人)※1	805	600	600
	登録医療機関数 退院支援計画件数(件)※2	284 187	287 198	285 200
	返院文援計画件数(件)次2	101	198	200
	※2 退院支援計画書作成件数			

第4期中期目標	(案)

# 第4期中期計画(素案)

#### 【目標值】

		福岡市民病院		
指标	標	令和元年度	令和2年度	令和6年度
		実績値	見込値	目標値
紹介率(%)		88.7	88.0	88.0
逆紹介率(%)		152.3	152.2	152.2
オープンカン 回済	数(回)	108	40	100
ファレンス 参加	加者数(人)※1	880	100	1,000
登録医療機関数		273	273	275
退院調整件数(件)	) *2	1,109	1,046	1,181

- ※1 院外参加者数のみ
- ※2 入退院支援加算 1・介護支援連携指導料の合計件数

#### (3) 災害・感染症等への適切な対応

災害・感染症等の発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。

また,他の自治体において大規模な災害・感染症等が発生した場合は,関係機関や災害協定に基づく医療機関等との連携を図るなど,迅速かつ的確に 医療救護活動や人的・物的支援に努めること。

## ア 福岡市立こども病院

高度医療を行う小児総合医療施設として、関係機関と連携を図りなが ら、必要な医療の継続のため医療資源を最大限活用するなど、役割に応じ た適切な対応を図ること。

#### (3) 災害・感染症等への適切な対応

災害・感染症等の発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たすとともに、他の自治体等において大規模な災害・感染症等が発生した場合は、患者受入れや医療従事者の派遣など、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努める。

また、防災マニュアルや事業継続計画(BCP)の定期的な見直しを行うとともに、訓練や備蓄等、災害対応に備えた万全な体制を維持する。

## ア 福岡市立こども病院

災害・感染症等の発生時やその他の緊急時においては、地域の関係機関等と連携を図り、必要な医療の継続及び医療救護活動等を行うなど、中核的な小児総合医療施設としての役割を果たす。

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
イ 福岡市民病院 必要な医療の継続及び救護活動を実施するとともに、感染症発生時においては、感染症指定医療機関として福岡市における対策の先導的かつ中核的役割を果たすため、必要な対応を図ること。	【目標値】
2 患者サービス	2 患者サービス
(1)患者サービスの向上	(1)患者サービスの向上
選ばれる病院であり続けるため、情報通信技術(ICT)の積極的な活用などにより、効率的かつ効果的なサービスの展開に努めるほか、ボランティアなどとの連携を図ることにより、多様な市民・患者一人ひとりの視点に立った患者サービスの向上に努めること。	<ul> <li>① 患者満足度調査等を実施し、患者及び家族の多様なニーズを的確に捉えた上で、ボランティアなどとの連携を図るとともに、情報通信技術(ICT)の積極的な活用等により、効率的かつ効果的な患者サービスの向上を図る。</li> <li>② 患者やその家族が安心して医療を享受できるよう、社会的、経済的悩みや不安等に適切に対応する。</li> <li>③ 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</li> </ul>

第4期中期目標(案)	第4期中期	計画(素案	<b>E</b> )	
	【目標値(福岡市立こども病院)】			
	指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
	退院時アンケートの平均評価点数 (100 点満点)	89.0	89.9	88.0
	※ 対象者・・・入院患者 ※ 評価項目・・・接遇,療養環	境,食事内容等	等	
	【目標値(福岡市民病院)】			
	指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
	患者満足度調査における平均評価 点数(100 点満点)	89.6	89.8	89.8
	<ul><li>※ 対象者・・・入院患者</li><li>※ 評価項目・・・接遇,療養環</li></ul>	境,食事内容,	診療内容等	
(2)情報発信	(2)情報発信			
ホームページや広報誌等により、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発	ホームページ等の様々な媒体を活用	して,病院の丼	寺つ機能や治療	寒績等,積極
信するなど、市民・患者に開かれた病院づくりに努めること。	的な情報発信に取り組むとともに,安心	いして受診でき	きるように, 市	民に開かれた
	病院づくりに努める。			
	【目標値(福岡市立こども病院)】			
	指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
	広報誌発行回数(回)	3	4	4
	【目標値(福岡市民病院)】			
	指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
	広報誌発行回数(回)	4	3	4

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)	
3 医療の質の向上	3 医療の質の向上	
(1)病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	(1)病院スタッフの計画的な確保と教育・研修	
医療水準を向上させるため、医療環境の変化を見据え、中長期的な観点か	① 収支への影響も踏まえながら、中長期の医療環境の変化等を見据え、優れ	
ら、優れた知識と専門性を有する人材の確保に努めること。	た知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。	
また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図	② 院内研修の充実や外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。	
ること。	③ 積極的に職員に資格取得を奨励し,専門職としての知識・技術の向上を図	
	る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。	
(2)信頼される医療の実践	(2)信頼される医療の実践	
市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を	① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催な	
確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療	どによる院内感染防止対策を徹底するとともに,医療安全管理者を中心に,	
安全対策の徹底を図ること。	医療安全に関する情報の収集・分析及び院内研修を実施するなど, 医療安全	
また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治	対策の徹底を図る。	
療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを	② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくイン	
徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。	フォームド・コンセント/アセントの徹底を図り,患者中心の医療を実践す	
	る。	
	③ 医療の質の確保・向上のため、第三者機関による外部評価等を活用すると	
	ともに,チーム医療の実践や多職種による患者指導の充実など,安全・安心	
	な医療を提供する。	
	福岡市立こども病院	
	指標	
	実績値     見込値     目標値       薬剤管理指導件数(件)     4,929     3,580     3,800	
	栄養食事指導・相談件数(件) 1,412 1,200 1,300	
	医療安全等の研修開催数(回) 57 50 48	

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)	
	指標	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	
地方独立行政法人制度の特長を活かし、各病院が自らの特性や実情を踏まえ、より機動的に業務改善ができるよう、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。	① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。 ② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。	
2 事務部門の機能強化 各病院の経営支援を的確に行うことができる人材や、医療を巡る環境変化に柔軟に対応できる人材を育成するため、その専門的知識やスキルを習得するための研修を計画的に実施するとともに、市立病院としてのノウハウを確実に蓄積し、事務部門の更なる機能強化に努めること。	2 事務部門の機能強化  ① 経営状況や医療を取り巻く情報を整理・分析する能力など、事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、スキルアップを支援するための制度の導入を検討する。 ② 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、情報共有の徹底やOJT (On the Job Training)の充実を図るとともに、人材育成プランを基に、職員のキャリアプランを踏まえた人事異動を通して、事務部門の更なる機能強化に努める。	

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)	
3 働きがいのある職場環境づくり	3 働きがいのある職場環境づくり	
職員の福利厚生の充実や国の働き方改革の考え方を踏まえてワーク・ライ	① 職員ニーズ等を踏まえ、福利厚生の更なる充実に取り組むとともに、育	
フ・バランスの実現に向けた取組を行い、職員が働きやすい職場環境の整備	児・介護等の支援制度の利用促進や組織全体の意識改革を図り、柔軟で働き	
に努めること。	やすい職場環境の整備に努める。	
また、職員の業績や能力を公正かつ客観的に評価できるように人事評価制	② 国の働き方改革の考え方を踏まえ、人員配置や業務の見直し等、職員の業	
度の改善を行い、職員のモチベーションの維持・向上を図ること。	務負担の軽減に努めるとともに、時間外勤務の適正化や年次有給休暇が	
	しやすい職場環境を整備し、ワーク・ライフ・バランスの確保及び職員の健	
	康保持に取り組む。	
	③ 職員のモチベーションの維持・向上を図るため、人事評価制度の改善に引	
	き続き取り組むとともに、社会情勢の変化等に適合しつつ、職員の意欲を引	
	き出すよう,人事・給与制度について,適宜,見直しを行う。	
	機構	
	指標	
	実績値	
	ATT	
	4、 计人类点 5.八页件、字四件。7.70.17	
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	4 法令遵守と公平性・透明性の確保	
4 法司遵守 公平性・透明性の確保 医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理	4 法令遵守と公平性・透明性の確保  ① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスの徹底を目的とした管	
医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理	① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスの徹底を目的とした管	
医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより, 行動規範と倫理 に従い, 市立病院の運営を担う地方独立行政法人として, 公平性・透明性を	① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスの徹底を目的とした管理監督者研修などを実施することにより、チェック機能を強化し、不適切な	
医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理に従い、市立病院の運営を担う地方独立行政法人として、公平性・透明性を確保した病院運営を行うこと。	① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスの徹底を目的とした管理監督者研修などを実施することにより、チェック機能を強化し、不適切な事務処理や不祥事を未然に防止するとともに、市立病院として公平性・透明	

	第4期中期計画(素案)				
	【目標値】				
第3 財務内容の改善に関する事項	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 持続可能な経営基盤の確立	1 持続可能な経営基盤の確立				
(1)経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化	(1)経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化				
市立病院として求められる医療を安定的・継続的に提供していくため、医	市立病院として求められる医療を安定的・継続的に提供するため、医療環境				
療環境の変化に対応しながら、より一層の経営の効率化や健全化を進めるな	   の変化に対応しながら,より一層の経営の効率化や健全化を進め,持続可能な				
ど、経営改善に取り組み、持続可能な経営基盤を確立すること。	経営基盤の確立を図る。				
また、地方独立行政法人法に基づく運営費負担金の趣旨を踏まえ、公立病	また,運営費負担金の趣旨を踏まえ,市立病院としての役割に応じた政策的				
院としての役割を果たすとともに、自律的な運営に努めること。	医療を提供するとともに、自律的な運営に努め、経営改善に取り組む。				
	【目標値】 (単位:%)				
	福岡市立こども病院				
	指標 令和元年度 令和2年度 令和6年度 宗績値 見込値 目標値				
	経常収支比率 108.2 102.5 97.7				
	医業収支比率 93.4 87.4 84.5				
	(単位:%) 福岡市民病院				
	指標 令和元年度 令和2年度 令和6年度				
	実績値見込値目標値				
	経常収支比率     95.8     92.3     100.7       医業収支比率     87.2     82.4     90.4				

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)				
(2)投資財源の確保	(2)投資財源の確保				
施設整備や高額医療機器の更新など,今後の投資計画を踏まえながら,自	独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑				
   己財源の確保に努めること。	み,今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。				
2 収支改善	2 収支改善				
(1)収益確保	(1)収益確保				
診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努め	① 診療体制の充実等による高度専門医療の提供に取り組むとともに、効率				
るとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、安定的かつ	的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上等に努め,収入の確保を図る。				
確実な収益の確保に努めること。	② 診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応して適切な施設基準の取				
	得及び維持に取り組む。				
	また、診療報酬請求に係る精度を高めるようチェック体制を更に強化する				
	とともに, 医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めるなど, 安定的な収				
	益の確保に努める。				
	m - 2 0E P (1 - 2 2 3 2 G 0				
	【目標値】 *再掲				
	福岡市立こども病院				
	指標				
	実績値見込値目標値				
	1人1日当たり入院単価(円)* 108,393 112,457 110,000				
	1人1日当たり外来単価(円)       11,492       12,207       11,620         1日当たり入院患者数(人)*       215.5       192.6       205.5				
	(病床利用率)※(%)* (90.2) (80.6) (86.0)				
	新規入院患者数(人)* 7,428 5,776 6,883				
	平均在院日数(日) 9.7 10.8 9.9				
	1日当たり外来患者数(人) 389.5 355.5 371.4				
	手術件数(件)* 2,929 2,570 2,800				
	救急搬送件数(件)*   1,380   904   1,000   1,000   1,380   1,000				
	院患者数:年延病床数×100)に基づき算出				

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)				
	指標  1人1日当たり入院単価(円)* 1人1日当たり外来単価(円) 1日当たり入院患者数(人)* (病床利用率)※(%)* 新規入院患者数(人)* 平均在院日数(日) 1日当たり外来患者数(人) 手術件数(件)* 救急搬送件数(件)* ※ 病床利用率については、総院患者数÷年延病床数×100			令和6年度 目標値 66,300 23,000 190.0 (93.1) 4,769 12.6 220.0 3,815 3,023 出方法(年延入	
(2) 費用削減 地方独立行政法人の会計制度に基づいた効果的・効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。	(2)費用削減 ① 医療の質や医療安全の確保, 十分配慮したうえで,職員の適正 ② 診療材料や医薬品等の調達に 同して,分析及びそれに基づく値 見直し及びジェネリック医薬品(3) 両病院ともに,適切に施設・調	配置を行い, 約 関し, SPD 面格交渉の徹底 の使用拡大等を	合与費比率の適 事業者やコンサ ,契約手法や を行い,費用の	正化に努める。 ナルタントと共 委託業務内容の 削減を図る。	

#### 第4期中期目標(案) 第4期中期計画(素案) 【目標值】 (単位:%) 福岡市立こども病院 指標 令和元年度 令和2年度 令和6年度 見込値 目標値 実績値 給与費対医業収益比率 56.2 63.1 61.2 材料費対医業収益比率 17.5 19.3 20.2 うち薬品費対医業収益比率 5.5 6.0 6.8 うち診療材料費対医業収益比率 11.6 12.8 13.1 9.3 12.0 委託費対医業収益比率 11.7 ジェネリック医薬品導入率 ※ 89.9 85.0 85.0 ※ 数量ベース (単位:%) 福岡市民病院 指標 令和元年度 令和2年度 令和6年度 実績値 見込値 目標値 給与費対医業収益比率 62.9 66.7 56.6 材料費対医業収益比率 27.0 28.8 28.8 8.4 8.8 8.8 うち薬品費対医業収益比率 うち診療材料費対医業収益比率 18.4 19.9 19.9 委託費対医業収益比率 8.5 7.6 9.1 ジェネリック医薬品導入率 ※ 88.7 88.7 88.7 ※ 数量ベース

₩ 4 #0±#0□## (₾)	
第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
第4 その他業務運営に関する重要事項	第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	1 福岡市立こども病院における医療機能の充実
小児医療, 周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ, 福岡市立こども病院に求められる役割を果たせるよう, 中核的な小児総合医療施設としての医療機能の更なる充実を図ること。また, 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ, 引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組を進めること。	中核的な小児総合医療施設としての役割を果たすため、医療環境の変化等を踏まえ、高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、治験や臨床データ解析等の臨床研究、国際的な視野に立った職員の人材育成等に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展に貢献する。 また、新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組を進める。
2 福岡市民病院における経営改善の推進	2 福岡市民病院における経営改善の推進
福岡市民病院については、地方独立行政法人化後、医療環境の変化等を踏まえ、医療機能を強化するなど、順調にその経営改善が図られたところであるが、引き続き経営課題の解決に努めるなど、更なる経営改善を進めること。また、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、既存の施設・設備の計画的な維持管理に取り組むこと。	<ul> <li>① 将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき、公立病院に求められる高度専門医療、救急医療を提供するとともに、福岡市の医療施策として必要な感染症医療等の診療機能の充実に取り組む。</li> <li>その一方で、経営の効率化に積極的に取り組み、現在の医療資源を最大限有効活用して、収支の改善に努める。</li> <li>② 収支の状況を踏まえながら、築30年を超えた既存の施設・設備の計画的な維持管理に取り組む。</li> </ul>

第4期中期目標(案)		第4期中期計画(素案)				
	第5	第5 予算(人件費の見積りを含む。), 収支計画及び資金計画				
	1	予算	〔(令和	13年度から令和6年度まで)		
					(単位:百万円)	
				区 分	金額	
			収入	営業収益	68,724	
				呂耒収益   医業収益	59,987	
				運営費負担金収益	7,975	
				補助金収益	393	
				寄附金収益	23	
				受託収入	347	
				営業外収益	806 328	
				運営費負担金収益 その他営業外収益	3 <u>28</u> 478	
				資本収入	1,000	
				長期借入金	-	
				運営費負担金	1,000	
				その他資本収入	-	
				その他の収入	3,956	
				計	74,486	
			支出	営業費用	60.777	
				呂乗負用   医業費用	62,777 62,149	
				給与費	36,432	
				材料費	14,077	
				経費	11,246	
				研究研修習		
				一般管理費	629	
					435 193	
				営業外費用	617	
				資本支出	7,767	
				建設改良費	5,069	
				償還金	2,698	
				その他の支出	57	
				計	71,219	

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
	(注1)計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。 (注2)期間中の給与改定及び物価の変動は考慮していない。 [人件費の見積り] 期間中総額36,867百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。 [運営費負担金の繰出基準等] 高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)				
	2 収支計画(令和3年度から令和6年度まで)				
	(単位	: 百万円)			
	区分	金額			
	収益の部	71,234			
	営業収益	69,646			
	医業収益	59,987			
	運営費負担金収益	7,975			
	補助金収益	393			
	寄附金収益	23			
	資産見返負債戻入	921			
	受託収入	347			
	営業外収益	806			
	運営費負担金収益	328			
	その他営業外収益	478			
	臨時利益	782			
	費用の部	70,318			
	営業費用	69,644			
	医業費用	68,539			
	給与費	37,102			
	材料費	14,077			
		11,265			
	減価償却費	5,694			
	資産減耗費	6			
	研究研修費	394			
	一般管理費	654			
		451			
	営業外費用 臨時損失	617 57			
	<u> </u>				
	純利益	916			
	総利益 (注)計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているの	916			
	(注) 計数は原則としてそれぞれ四括五人によっているの おいて合計とは一致しないものがある。	ノし, 姉女に			

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)			
	3 資金計画(令和3年度から令和6年度まで)			
	(単	位:百万円)		
	区分	金額		
	資金収入	78,878		
	業務活動による収入	69.530		
	診療業務による収入	59,987		
	運営費負担金による収入	8,303		
	その他の業務活動による収入	1,241		
	投資活動による収入	4,956		
	運営費負担金による収入	1,000		
	その他の投資活動による収入	3,956		
	財務活動による収入	-		
	長期借入れによる収入	-		
	前期中期目標の期間からの繰越金	4,392		
	資金支出	78,878		
	業務活動による支出	63,395		
	給与費支出	36,867		
	材料費支出	14,077		
	その他の業務活動による支出	12,450		
	投資活動による支出	4,619		
	有形固定資産の取得による支出	4,562		
	その他の投資活動による支出	57		
	財務活動による支出	3,205		
	長期借入金の返済による支出	1,808		
	移行前地方債償還債務の償還による支出	891		
	その他の財務活動による支出	507		
	次期中期目標の期間への繰越金 (注)計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっている。	7,659		

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)
	第6 短期借入金の限度額
	1 限度額
	2,000 百万円
	2 想定される短期借入金の発生事由
	ア 業績手当(賞与)の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等,偶発的な出費への対応
	第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
	重要な財産を譲渡する計画 土地(福岡市中央区唐人町二丁目 133番2 面積 16,925.85 平方メートル)を譲渡する。
	第8 剰余金の使途
	決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。
	第9 料金に関する事項
	1 料金
	理事長は、使用料及び手数料として、次に掲げる額を徴収する。  ア 健康保険法(大正 11 年法律第 70 号)第 76 条第2項(同法第 149 条において準用する場合を含む。)及び高齢者の医療の確保に関する法律(昭和 57 年法律第 80 号)第 71 条第1項の規定に基づく方法により算定した額  イ 健康保険法第 85 条第2項及び第 85 条の2第2項(これらの規定を同法第 149 条において準用する場合を含む。)並びに高齢者の医療の確保
	に関する法律第 74 条第2項及び第 75 条第2項の規定に基づく基準により算定した額

第4期中期目標(案)	第4期中期計画(素案)	
	ウ 上記以外のものについては、別に理事長が定める額	
	2 料金の減免	
	理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部	『又は
	一部を減免することができる。	
	第 10 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則でる る業務運営に関する事項	で定め
	1 施設及び設備に関する計画(令和3年度から令和6年度まで)	
	(単位:百万円)	
	施設及び設備の内容 予定額 財源	
	病院施設,医療機器等整備 4,562 積立金等	
	2 人事に関する計画 人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の発 により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。	実等
	また, 適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに, 有期職員	員の活
	用やアウトソーシングの検討を積極的に行い,効果的・効率的な組織運営	営体制
	の構築を図る。	

第4期中期目標(案)	第4	期中期計画	(素案)		
	3 中期目標の期間を超える	5債務負担			
	   ア 移行前地方債償還債務	X 5			
			(	(単位:百万	5円)
		中期目標期間 償還額	間 次期以間 償還額		络償還額
	移行前地方債償還債務	89	2,78	SO	3,671
	イー長期借入金償還債務			〔単位:百万	5円)
		中期目標期間 償還額		文 中 4公/主3	务償還額
	長期借入金償還債務	1,80	)8 7,20	)4	9,012
	ウ 新病院整備等事業			(単位:百	万円)
	事	業期間 中	期目標期間事業費	次期以降 事業費	総事業費
		3年度から 2年度まで	1,948	2,165	4,113
	4 積立金の処分に関する記	+画			
	前中期目標期間繰越積工		は、病院施設の	の整備,医	療機器の購
	入,教育・研修体制の充実	等に充てる。			